

プロジェクト学習指導案



13時55分～14時55分 4階ホール
□ 6年 全校研究授業
題 材 私たちの暮らしと世界
テーマ 世界の人たちと仲よくするために
 みんなに世界のことをもっと知ってもらおう！
ゴール 『世界は友だちガイドブック』を作ろう！



15時10分～16時30分 華陽公民館ホール
□ 全校研究会
講師 鈴木敏恵先生
『意欲』『考える力』を高めるコーチング
＜ 未来教育プロジェクト学習&ポートフォリオ評価＞

平成15年10月21日
岐阜市立華陽小学校

華陽小6年
わくわくタイム

題材

私たちのくらしと世界

ゴール

世界は友だち
ガイドブック

～世界の人たちと
仲よくするために～

テーマ

世界の人たちと
仲よくするために
みんなに世界のことを

もっと
知ってもらおう！

第6学年
わくわくタイム(総合的な学習の時間)
学習指導案

日 時：平成15年10月21日(火)
第5校時(13:55～14:55)
場 所：岐阜市立華陽小学校 4階ホール
指導者：6年 花組(26名) 安田 幸典
星組(26名) 坂井 裕美

1. 単元名 「私たちのくらしと世界」

2. 指導の立場

①単元の「ねらい」と「育てたい力」の明確化

子どもたちは、これまでに地域の河川を中心とした環境や、高齢者福祉に関心をもって取り組んできた。地域を学びの場として、「ひと」や「もの」と関わることから、自分自身も地域を構成している一人であり、自分自身の問題として積極的に関わるができることに気づいた。

6年生になって、学びの場を「地域」から、「世界」に広げることができると考えた。

インターネットなどの情報機器を活用する能力も高まり、世界への関心も高まりつつある。また、歴史では世界とのつながりを通して、くにつくりを進めた先人の姿に驚きをもって学ぶ姿が見られたことがその理由である。

自分のくらしが世界とどのようにつながっているのかを見つめさせ、世界には多様な価値観があることに気づいた子どもたちが、再び身のまわりにも多様な価値観があることに気づくことをねらっている。「地域」から「世界」へ目を向けた子どもたちが、再び「地域」へ目を向けるのである。そして、身近な人たちの物の見方考え方の違いも受け入れられることをねらって「私たちのくらしと世界」という題材を設定した。

「私たちのくらしと世界」のねらいは、

- 様々な価値観や生活習慣をもつ世界の人々が共存する世界を願い、身近な人に対しても物の見方や考え方の違いを尊重することができる。
- 題材に進んで関わっていくことで、自ら課題を見つけ、追究していくことができる。

また、この単元を通して「育てたい力」を

- 課題を見つける力：世界の様々な価値観や生活習慣に興味をもち、課題をもつことができる
- 課題を追究する力：課題解決に向かって見通しをもち、ねばり強く取り組むことができる
- 学 び 合 う 力：外国の人や外国に住んでいた日本人から学んだり、仲間の学び方から学んだりすることができる
- 伝 え る 力：世界とのつながりや異文化に関する自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えることができる
- 生き方を考える力：国際人として、様々なものの見方や考え方の違いを尊重できる

とした。

②教師の持つ「テーマやゴールのイメージ」

テーマ

子どもたちや世界で活動する人に伝えよう！

もっと 世界の人たちと なかよくするために 大切なこと

(願い)「世界の人たちと共に 仲よく くらせる未来にしたい」

「文化の違い」を列挙することを目的としていない。文化の異なる人たちとよいつながりをもち続けるために、どんな違いに気をつけ、どのように行動するとよいのかを考え、国際社会で生きる未来の大人を相手にして学習を進めることをイメージした。

多様な価値観を「あたり前(＝文化)の違い」と表現して、子どもたちの心情に働きかけることにした。

→違いを学ぶことが、おたがいの文化を大切にすることになる。
 (あたり前の違いを知ることはおもしろいなあ。)
 (あたり前にしていることが違い、違うのがあたり前なんだ。)

→違いを学ぶことが、世界に出て働くときに役に立つことになる。

→違いを学ぶことが、世界の人々と関わる人を育てることになる。
 (みんなが知るといいのになあ。)
 (外国の人と関わりをもとうとする人は知らないで困るだろうな。)
 (おたがいのあたり前を大切にしたいな。)

違いが見つければ見つかるほど、「こんなに違うのに、なかよくすることはできるのだろうか。」
 「こうした違いをもつ人たちとなかよくしていくためには、どんなことを大切にしたらよいのだろう。」
 という思いを強くすると予想した。「なかよくする」という姿とは、「相手を尊重すること」や「相手を受け入れること」ができる姿と考えた。

ゴール 「世界の人たちと なかよくするためのガイドブック」

＜教師の願い＞あたり前としていることに込められた知恵に気づき、
 (すごいなあ！) と尊敬の念をもてることにこだわって指導したい！

「旅行者のためのガイドブックはあっても、『仲よくするためのガイドブック』は見たことがない！」
 を励ましの言葉にしようと思った。

どんな文化をもった人たちと仲よくしたいのかを考えて、国別のチーム分けをイメージすると、

「韓国の人となかよくするためのガイドブック」
 「バキスタンの人となかよくするためのガイドブック」
 「ブラジルの人と なかよくするためのガイドブック」
 →「〇〇国の人と なかよくするためのガイドブック」

のようになった。

また、国別ではなく、あいさつや食事の仕方、服装、トイレの使い方等に込められた知恵を紹介することで相手の文化の理解を深めることをイメージすると、

「世界の人たちと なかよくするあいさつ紹介ビデオ」
 「世界の人たちと なかよくトイレブック」「世界の人たちの服装・知恵発見ブック」
 「世界の人たちの食事の仕方ガイドブック」

のようになった。

1チーム4～6名、10～12チーム程度を目安にすることや、プレゼンテーションの後、再構築のフェーズで作成した成果物を各種図書館や公民館に展示したり、他校の児童生徒にも読んでもらうこと、ホームページでその作品を海外の日本人学校の児童生徒にも見てもらうことなども想定した。

③フェーズの展開

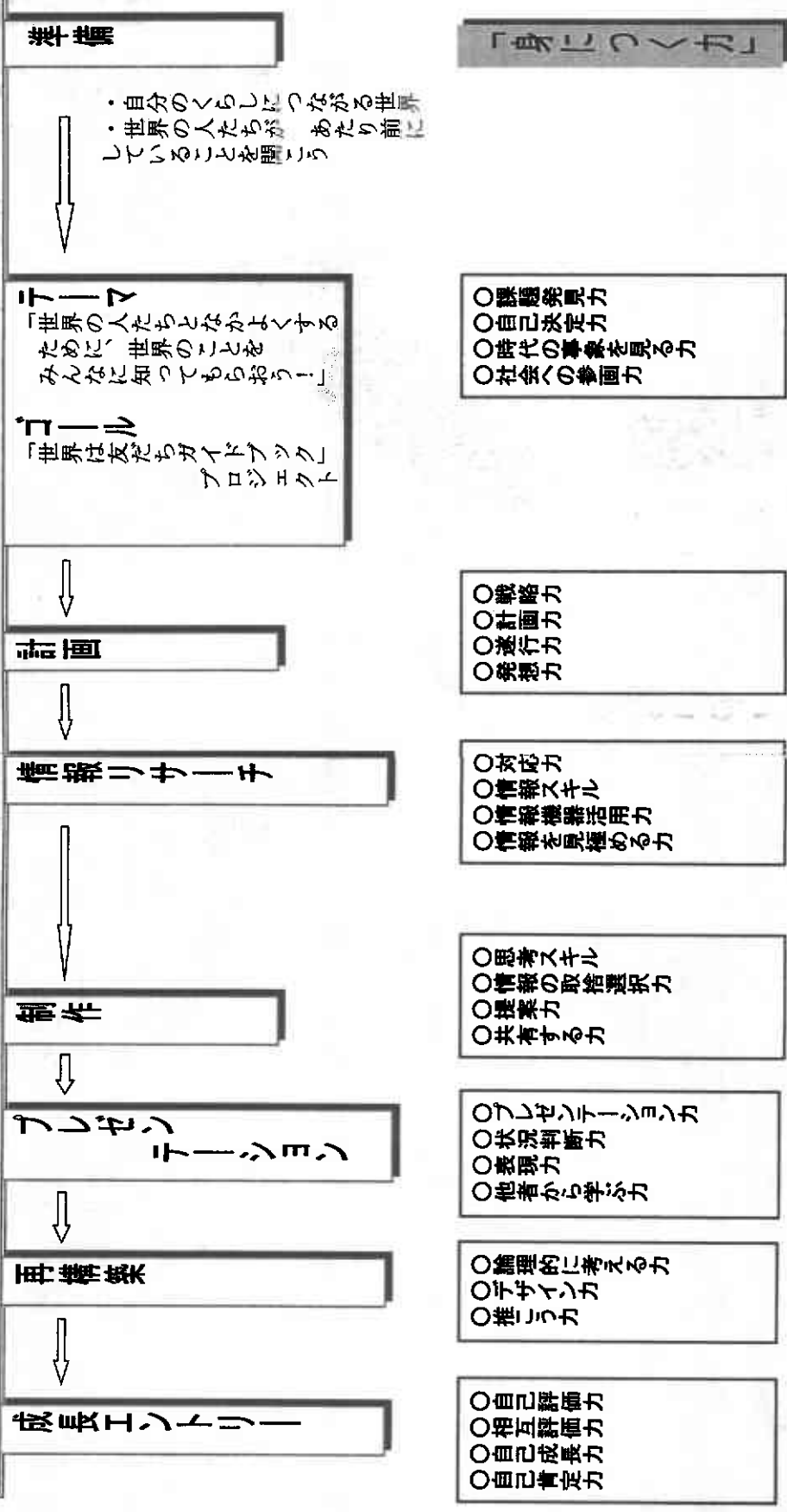
テーマ・ゴールを考えてから、夏休みが入ることは学習意欲を持続させる上で難しいと考えた。

1学期に「準備」、9月運動会が終わってから、「計画」→「情報リサーチ」と集中して取り組めるように時間配分を見直した。「プレゼンテーション」を11月5日。一人一人がガイドブック作りに取り組む「再構築」を11月中と見通し、次のようなフェーズ展開図を作成し、子どもたちと共有した。

この他、チームの構成は、2クラス合同にすること、できる限り、2クラス一緒にの時間をもつこと、学級担任2名による T.T.を基本にすること、プロジェクト学習解説書の言葉を頼りにしながら進めることを確認した。

「世界は友だちガイドブック」を作ろう！

プロジェクト



第6学年 総合的な学習の時間「わくわくタイム」年間指導計画

岐阜市立華陽小学校

題 材

私たちの暮らしと世界

テーマ

世界で活動しようとする人たちに伝えよう！もっと世界の人たちと仲よくするために大切なこと

ゴール

世界の人たちと仲よくするためのガイドブックを作り、ホームページでも紹介する

フェーズ展開

活動のイメージ

開始日(予定時間)

準 備

シート⑤⑥⑦⑧

テーマ・ゴー

シート⑨⑩⑪⑫

計 画

シート⑬⑭

情報 リサー

シート⑮

制 作

シート⑯⑰

プレゼンテーション

シート⑱⑲

再 構 築

シート㉑

成長エントリー

☐ 「暮らしと世界とのつながり」について調べる。

☐ 外国の人や、外国に住んでいた人から、日本と外国の文化の違いについて話を聞く。
・私たちのあたり前と ○○○国のあたり前の違い
・パキスタン、フィリピン、韓国、ブラジル、ロシア 日本

5月12日

(22時間)

☐ テーマとゴールを決める。シート⑤⑥

テーマ：世界で活動しようとする人たちに伝えよう！
もっと世界の人たちと仲よくするために大切なこと
ゴール：あいさつ紹介・食べ物や食べ方パッチリ
・好きな遊びはこれ！・宗教ガイドブックなど
☐ チームを作る シート⑦⑧

9月24日

(6時間)

☐ チームの提案について考える。シート⑨

☐ チームで企画書を作製する。シート⑩

☐ サーチの問題点と解決策について考える。シート⑪

☐ 工程表を作製する。シート⑫

行くこと(すること)・分担・準備する物

10月2日

(4時間)

☐ 図書館の本をスタートにして、インターネットや在外日本人学校、Eメール、在日大使館、各種パンフレットを活用して調べる。シート⑬⑭リサーチシート

10月6日

(13時間)

☐ 模造紙2枚で調べたことをまとめる。シート⑮

プレゼン・持ち時間は？ 1チーム10分

・誰に？ 6年生+教員+保護者+国際交流員

・聞いてくれる人数は？ 約80名

・場所は？ 4階ホール特設会場

10月17日

(6時間)

☐ プレゼンテーションの準備をする。シート⑯

☐ プレゼンテーションを行う。仲間の発表を聞く。

☐ プレゼンテーションのまとめをする。シート⑰

10月28日

※プレゼン11月5日

(7時間)

☐ 再構築する方法を学ぶ。シート⑱

☐ プレゼンテーションや、これまでのポートフォリオをもとにして、ガイドブックをまとめる。

☐ 手順に沿って再構築の下書きをする。シート⑲

☐ 再構築を行う。

11月13日

(10時間)

☐ ポートフォリオを活用してプロジェクト学習を通して得たことを振り返り、自分の成長したことを確かめる。シート㉑

☐ 友だちの成長を伝える。シート㉑

12月3日

(4時間)

第6学年 総合的な学習の時間「わくわくタイム」評価規準

岐阜市立華陽小学校
身近な人に対して

＜目指す子どもたちの姿＞様々な価値観や生活習慣をもつ世界の人々が共存する世界を願い、ものの見方や考え方の違いを尊重する子を育てることができる。

(岡和教育の観点から)

＜身につけたい5つの力＞

	課題を見つける力	課題を追究する力	学び合う力	伝える力	生き方を考える力
全体	世界の様々な価値観や生活習慣に興味をもち、課題をもつことができる	課題解決に向かって見通しをもち、ねばり強く取り組むことができる	外国の人や外国に住んでいた日本人から学んだり、仲間の学び方から学ぶことができる	世界とのつながりや異文化に関する自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝える	国際人として、様々なものの見方や考え方の違いを尊重できる
各フェーズにおける評価規準	身近にある外国とのつながりに興味関心をもてる	教室の中や家の中、身近なお店などで、世界とのつながりを調べるができる 異文化の話を聞く際に観点をもちて聞くことができる	聞いたことを仲間と共有することができる 話をする人に質問することができる	心に残ったことを仲間に話すことができる	世界や日本における異文化の存在に気づき、大切にしようと思えることができる
	取り組みたいテーマをもち、ゴールを見通すことができる	自分の知っていることを整理することができる 仲間の考えを受け止め、確かな根拠をもつて整理することができる	自分の願いと仲間の願いから、チームのテーマを明らかにすることができる 世界の人たちと仲良くなろうという願いをもてる	自分の願いを仲間に伝えることができる 自分の願いを根拠を明らかにして伝えることができる	社会に対する願いを考え、テーマとしてもつことができる
	すべき仕事、時間のこと、方法、必要なものなどを模造紙に書き出すことができる	課題解決の見通しをもち、工程表を作ることができる 世界の人たちと仲良くなるための方法を考え、解決の見通しをもてる	チームの仲間と力を合わせて解決の方法や手順を相談することができる		
		困ったことやうまくいかないことなどへの対応策、解決策をイメージできる 様々な情報の中から確かな情報を見極め、それをもとにして自分の考えをもてる	調べたことをチームの仲間と共有することができる	調べる内容や意図を相手に伝え、調べるができる	
		プレゼンテーションの「制作物」を作るための手順を知ることができる	話し合いを通して、伝えたいことをはっきりさせることができる	伝えたいことをはっきりさせて、模造紙2枚に伝えたい内容を工夫してまとめることができる 一人一人がもっている情報を適切に生かして、根拠ある情報をもとに制作できる	
			自分や仲間のプレゼンのよさや改善点を伝え合い、受け入れることができる 自分たちや他のチームの良さや改善点を出し合い、共に高まろうとすることができる	伝えたいことを短い言葉で表現することができる 伝えたいことを図や写真を使って効果的に表現することができる	
		ポートフォリオをもとにして、取り組んできたことを組み立てることができる		考えたことを根拠ある情報をもとにして書き表すことができる 考えたことを根拠ある情報をもとにして書き表すことができる	
	活動や成果を振り返り、よいところや課題を見つけることができる	ポートフォリオに自分の成長を見つけて付箋をつけることができる	お互いのよさや伸びたところを見出し、紙に書いて伝えることができる		自分のよさを認め、自信をもち、自分を大切にすることができる 自分のよさを認め、自信をもち自分を大切にすることができる